

もっと詳しく知りたい方へ・・・

女性教育情報センター所蔵展示 2017年1-3月
「性的マイノリティ～世界の潮流と日本の現状～」
展示資料詳細

https://www.nwec.jp/event/center/page2017_1_10.html

女性教育情報センターは、男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。


昭和61年1月から現在に至るまで、約13万冊の図書、約4000タイトルの雑誌、41万件以上の新聞切り抜き記事などの所蔵があります。


所蔵資料はデータベース化され文献情報データベースから検索することができます。

●文献情報データベース

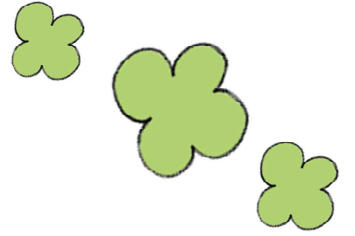
http://winet.nwec.jp/bunken/opac_search/

図書の貸出、新聞記事の複写郵送サービスなどを行っています。ぜひご利用ください！

 編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課
〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL:0493-62-6195
URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>

 発行: 2017年1月





本、あり。

-?を！に変える本との出会いを見つけるマガジン-
///Vol.7///

性的マイノリティ
～世界の潮流と日本の現状～



「性的マイノリティ」とは

レズビアンやゲイといった性的少数者を表す言葉です。
代表的な性的マイノリティの頭文字をとって、
「LGBTQ」と表現することもあります。

L : Lesbian(レズビアン)

G : Gay(ゲイ)

B : Bisexual(バイセクシュアル)

T : Transgender(トランスジェンダー)

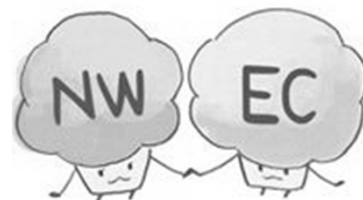
Q : Questioning(クエスチョニング)

Qには、性的マイノリティの総称として用いられる
Queer(クィア)の意味もある

出典:法務省 人権啓発ビデオ
「あなたがあなたらしく生きるために
性的マイノリティと人権」

●YouTubeに公開されています

<https://www.youtube.com/watch?v=G9DhghaAxlo>



性別にとらわれない個性について考えるきっかけとなる
性的マイノリティに関する絵本も出版されています。

『くまのトーマスはおんなのこ』

ジェシカ・ウォルトンさく;ドゥーガル・マクファーソンえ;
かわむらあさこやく ポット出版プラス 2016

『イリスのたんじょうび』 がりーど ちえこ 文芸社 2016

国や地方自治体の具体的な取り組みは？

◎文部科学省

- ・2014年6月、「学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査について」発表。
- ・2015年4月、「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」発表。

◎法務省による啓発サイト

「性の多様性を考える」

http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00126.html

◎厚生労働省

性的少数者(LGBT)への職場でのセクハラについて、男女雇用機会均等法の「セクハラ指針」に明記され、2017年1月から適応。

◎東京都渋谷区

2015年4月、渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例を施行。

『こどもたちの未来を考えるダイバーシティしゅばや：
男女平等と多様性社会の実現を目指して』
しゅばやフォーラム実行委員会 2016.3

◎大阪府大阪市

淀川区では2015年9月にLGBTなど性的少数者にも配慮した行政を目指すことを宣言

『虹色ニュース! : LGBT支援事業ニュースレター』
淀川区役所市民協働課 2014-

一人で苦しむ子どもをつくらないために・・・

性的マイノリティに関する基礎知識や
対応事例などの情報がまとめられています。



『LGBTなんでも聞いてみよう：中・高生が知りたい
ホントのところ』

QWRC, 徳永桂子著 子どもの未来社 2016

『先生と親のためのLGBTガイド：もしあなたが
カミングアウトされたなら』

遠藤まめた著 合同出版 2016

『LGBTサポートブック：学校・病院で必ず役立つ』

はたちさこ, 藤井ひろみ, 桂木祥子編著

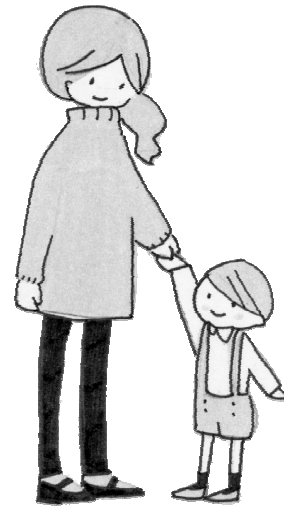
保育社 2016

『教職員のためのセクシュアル・マイノリティ
サポートブック Ver3』

教職員のためのセクシュアル・マイノリティサポート
ブック制作実行委員会制作

奈良教職員組合：性と生を考える会 2015

ひとつ、『男の子・女の子』
だけじゃなくて、
もっと豊かで多様なのよ。
新聞記事を見てみましょう。



新聞記事一例

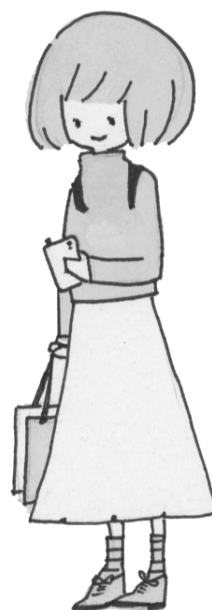
『性的少数の子に配慮求める通知：
文科省 全国の小中高校に』
高浜行人 朝日新聞 2015.4.30

『LGBT気配り役所も大学も：幹部職員に研修、
理解深める同性婚にも休暇・祝い金』
日本経済新聞 2016.10.19

『LGBT配慮 裾野広がるか：大手企業トイレ・名刺・
福利厚生 働きやすく：改正セクハラ対策指針 1月施行』
栗原渉 読売新聞 2016.12.03

国や地方自治体が発行している資料、広報誌などの中にも性的マイノリティが取り上げられているよ。

一人でも多くの人に知ってもらうことが大切なんだね。



資料、広報誌一例

『性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について(教職員向け)』

文部科学省 2016.4

『りぷる さっぽろ：男女共同参画情報誌』

特集：LGBT～多様な社会を目指して～

札幌市男女共同参画センター 2016.3 vol.41

『ねっとわあく：ともに担い ともに築く 女(ひと)と男(ひと)の情報誌』

特集：創ろう！多様性社会

静岡県男女共同参画センター あざれあ交流会議グループ

2016.2 vol.66



世界ではどんな取り組みがあるんだろう？

『パートナーシップ・生活と制度—結婚、事実婚、同性婚』
杉浦郁子、野宮亜紀、大江千束 編著
緑風出版 2016 [増補改訂版]

結婚制度、事実婚、同性婚、夫婦別姓、同性カップルなど、国内外の多様なパートナーシップについて、現状や課題、解決策をQ&A形式で紹介しています。
各テーマの用語もわかりやすく解説されています。

『現地レポート世界LGBT事情：
変わりつつある人権と文化の地政学』
フレデリック・マルテル [著]；林はる芽訳
岩波書店 2016

同性婚が認められる国がある一方で、現在も同性愛が違法の国も存在しています。
世界約50か国のLGBTの状況を知ることのできる一冊です。